

未来を考える

2016 環境報告書

地球への思いやり

琵琶湖を愛する



報告対象組織：日本精工株式会社 大津工場

報告対象期間：2015年4月1日～2016年3月31日

●工場概要



事業所名：日本精工株式会社大津工場

設立：1953年11月7日

所在地：滋賀県大津市晴嵐一丁目16番1号

敷地面積：60,800 m²

主な製品：単列深溝玉軸受 ユニット製品

複列アンギュラ玉軸受 (MCB軸受)

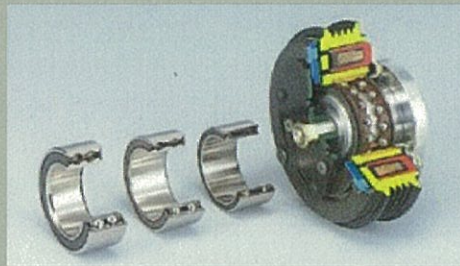
円筒ころ軸受 ターボチャージャー用軸受

従業員数：596名 (3月末)

主な製品



(単列深溝玉軸受)



(MCB軸受)



(ユニット製品)



(ターボチャージャー用軸受)



(円筒ころ軸受)

●環境方針

日本精工株式会社（略称：「NSK」）の本社にて定められた、NSK グループ全体の環境方針及び、大津工場が定めた工場の環境方針があり、環境活動の基本となっています。



我々の理念

NSK は、MOTION & CONTROL を通じ
円滑で安全な社会に貢献し、
地球環境の保全をめざすとともに、
グローバルな活動によって
国を越えた人と人の結びつきを強めます。

NSK 環境方針

我々は、環境問題への取り組みが我々の存在と活動に必須の要件と認識し、持続可能な社会の構築を目指し、自主的、積極的に行動します。

- (1) 地球温暖化の防止
環境と調和した技術と生産を追求し、地球温暖化の防止に貢献します。
- (2) 環境負荷の低減
環境マネジメントシステムと製品化学物質管理体制を構築し、その継続的改善を行い、法規制を遵守し、環境汚染の未然防止と環境負荷の低減に努めます。
- (3) 社会への貢献
グローバルに地域社会の発展に関与し、環境と調和した豊かな社会の実現、生物多様性の保全に取り組みます。

環境行動指針

1. 環境貢献型製品を創出するため、トライボロジー（摩擦制御・潤滑技術）を駆使し、製品と生産の技術開発を推進します。
2. 企業活動全ての領域で、省エネルギー、省資源に取り組みます。
3. 環境管理組織・運営制度を整備し、責任所在の明確化を図ります。
4. 環境関連の法律、条例、協定などを遵守し、自主基準を定めて一層の環境保全に取り組みます。
5. 環境に負荷を与える化学物質の代替物質への転換、廃棄物の削減、リサイクルを推進し、環境負荷を低減します。
6. 環境教育、広報活動を実施し、全社員に環境方針を理解させ、環境への意識の向上を図ります。
7. 環境に関する社会活動を通じ社会に貢献し、人の健康や生態系の保護に取り組みます。
8. 環境所轄当局や地域社会と建設的な意思の疎通に努め、環境管理の実施状況を公開します。

1997年12月12日制定
2015年6月25日改定
日本精工株式会社
取締役 代表執行役社長

山本 俊弘

日本精工株式会社 大津工場 環境方針

日本精工株式会社 大津工場は、琵琶湖と山々が連なる水と緑に恵まれた美しい景観の中で、品質と技術に秀でた玉軸受を主として製造する工場です。

この豊かな自然と地球環境を保全するため、環境との調和を事業活動の最優先課題の一つと位置づけ、次に掲げる環境活動を推進します。

1. 環境汚染の防止
環境関連の法規制及び条例等を遵守すると共に、技術的かつ経済的に可能な範囲で自主基準を設け、環境汚染の防止に努める。
2. 環境負荷の低減
省資源、省エネルギー及び廃棄物の減量化・再資源化を推進し、環境負荷の低減をはかる。又、環境負荷低減型の商品づくりを常に心がけ、地球温暖化防止と、地球にやさしい製品・サービスを提供する。
3. 自然環境の保護
琵琶湖の大切さを認識し、自然環境の向上に努め、地域社会との調和をはかる。
4. 継続的改善
環境マネジメントシステムと製品化学物質管理体制を構築し、目的及び目標を定め、又見直し、環境パフォーマンスの継続的改善をはかる。
5. 環境啓発活動の推進
環境教育、広報活動を通じて全従業員及び関係委託業者に、環境方針を周知させるとともに意識の向上をはかる。

この環境方針は、要求に応じて、社外に公表する。

作成・発行 2015年6月24日
日本精工株式会社 大津工場

大津工場長 青木 繁仁 

配布区分： 標準・標準外 管理番号：

【NSK 理念・環境方針・工場環境方針】

NSK の理念

NSK は、MOTION&CONTROL を通じ、円滑で安全な社会に貢献し、**地球環境の保全をめざす**とともに、グローバルな活動によって、国を越えた人と人の結びつきを強めます。

NSK 環境方針

我々は、環境問題への取り組みが我々の存在と活動に必須の要件と認識し、持続可能な社会の構築を目指し、自主的、積極的に行動します。

(1) 地球温暖化の防止

環境と調和した技術と生産を迫及し、地球温暖化の防止に貢献します。

(2) 環境負荷の低減

環境マネジメントシステムと製品化学物質管理体制を構築し、その継続的改善を行い、法規制を順守し、環境汚染の未然防止と環境負荷の低減に努めます。

(3) 社会への貢献

グローバルに地域社会の発展に関与し、環境と調和した豊かな社会の実現、生物多様性の保護に取り組みます。

大津工場 環境方針

日本精工株式会社 大津工場は、琵琶湖と山々が連なる水と緑に恵まれた美しい景観のなかで、品質と技術に秀でた玉軸受を主として製造する工場です。この豊かな自然と地球環境を保全するため、環境との調和を事業活動の最優先課題の一つと位置づけ、次に掲げる環境活動を推進する。

1. 環境汚染の防止

環境関連の法規制及び条例等を遵守すると共に、技術的かつ経済的に可能な範囲で自主基準を設け、環境汚染の防止に努める。

2. 環境負荷の低減

省資源、省エネルギー及び廃棄物の減量化・再資源化を推進し、環境負荷の低減をはかる。又、環境負荷低減型の商品づくりを常に心がけ、地球温暖化防止と、地球にやさしい製品・サービスを提供する。

3. 自然環境の保護

琵琶湖の大切さを認識し、自然環境の向上に努め、地域社会との調和をはかる。

4. 継続的改善

環境マネジメントシステムと製品化学物質管理体制を構築し、目的及び目標を定め、又見直し、環境パフォーマンスの継続的改善をはかる。

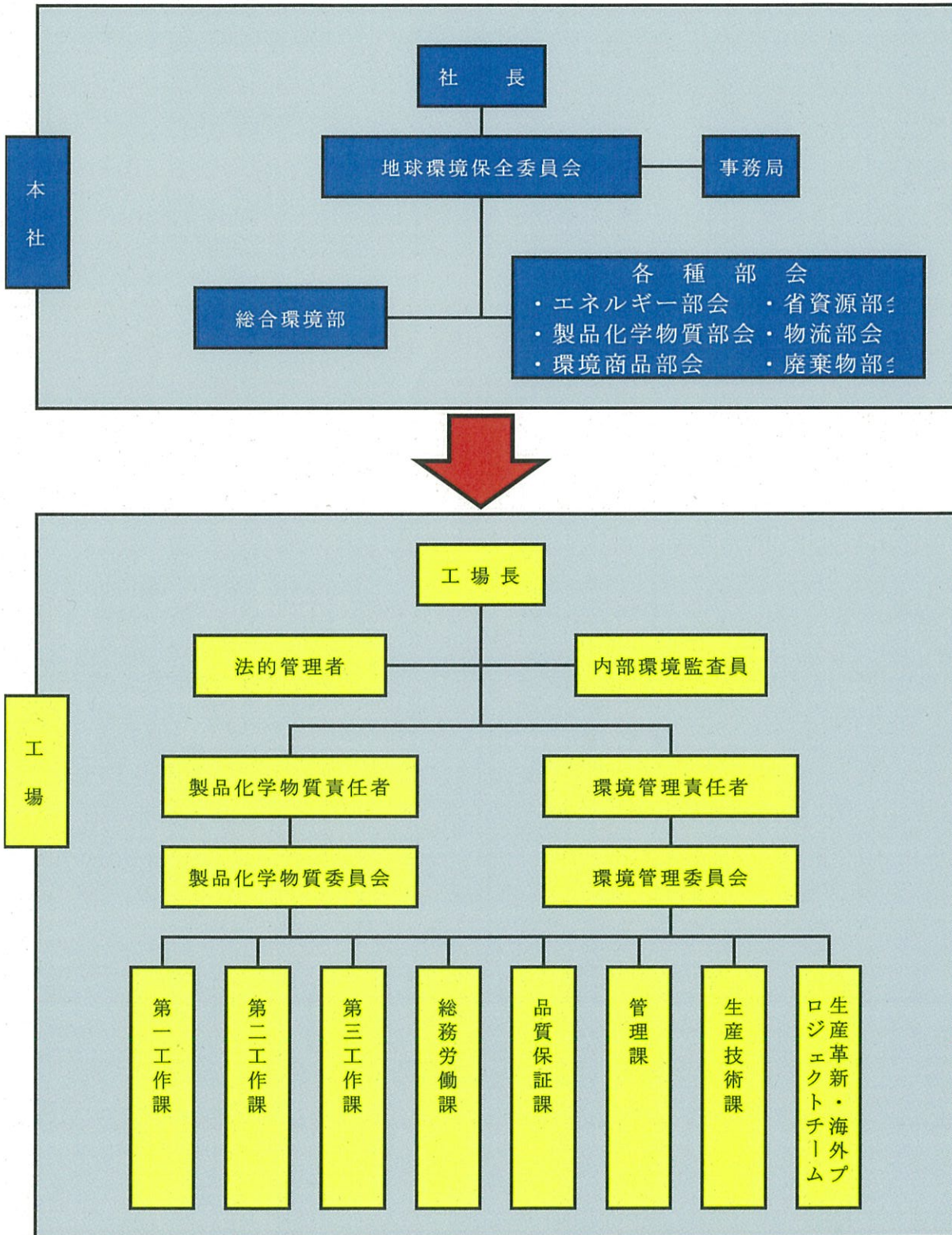
5. 環境啓発活動の推進

環境教育、広報活動を通じて全従業員及び関係委託業者に、環境方針を周知させるとともに意識の向上をはかる。

この環境方針は、要求に応じて、社内外に公表する。

●環境組織体系

NSKの環境組織体系は以下の図の通りです。本社で定めた目的目標に従って、工場が達成のための施策を実施します。

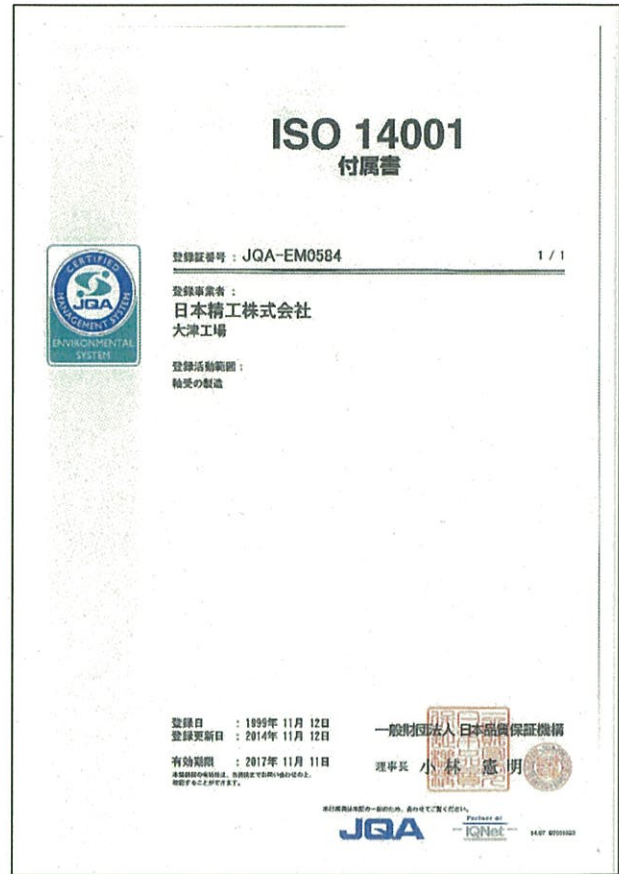


●工場沿革と環境保全

工場沿革	年	工場環境保全活動
西日本精工株式会社設立	1953	
単列深溝玉軸受生産開始		
円錐ころ軸受生産開始	1954	
JIS(日本工業規格)表示許可工場認定	1956	
熱処理工場完成		
本館及び5号研磨工場完成	1957	
日本精工(株)と吸収合併し、大津工場となる	1966	
1号工場完成	1970	
	1975	環境管理部設置(本社)
	1976	公害防止協定締結
ユニット生産開始	1979	
2号工場完成	1982	環境関連工場規定制定
5号ユニット工場完成	1991	滋賀県環境保全協会環境保全優良事業所受賞
オートテンショナー生産開始		
	1992	滋賀県工場緑化コンクール受賞
	1993	NSK地球環境委員会発足
ISO9002認証取得	1994	滋賀県環境保全協会地域環境保全功労者受賞
	1997	NSK環境方針制定、化学物質管理内部監査
	1998	
QS9000/ISO9001認証取得		
大津工場と石部工場を統合し滋賀工場となる (大津プラントとなる)	1999	ISO14001取得
複列アンギュラ玉軸受生産開始	2000	大津市環境管理実施事業所認定
QS9000/ISO9001滋賀工場統合認証取得		ISO14001滋賀工場統合取得
		環境保全協定締結
EL工場生産開始(並径小ロット品)	2001	滋賀工場環境報告書第1号発刊
ISO9001:2000・ISO/TS16949認証取得		
	2002	滋賀工場ゼロエミッション達成
	2003	滋賀工場研削くず固形機全建屋設置完了
センサー軸受生産開始	2004	ISO14001分割審査(大津・石部)
滋賀工場が分離し、大津工場、石部工場となる		
	2005	ISO14001更新・2004年版移行審査
	2006	空調燃料都市ガス化により地下埋設タンク 4基廃止
	2007	特高受電設備 更新移設 地下タンク更新(二重殻化) 空調設備熱源更新(都市ガス→電気)
	2009	製品化学物質委員会発足
	2010	PCB廃棄物(コンデンサ)の処分
	2011	地下タンク更新 大型油水分離槽設置
	2012	地下タンク更新(二重殻化・電気防食) コージェネレーション設備導入
ターボチャージャー用軸受生産開始	2013	診療所前油水分離槽設置
円筒ころ軸受生産開始	2014	地下タンク更新(二重殻化)
	2015	地下タンク更新(二重殻化)

●ISO14001

1999年11月に認証を取得し、2014年度に5回目の更新審査を受審し認定を受けました。



●2015年度の環境保全の取組

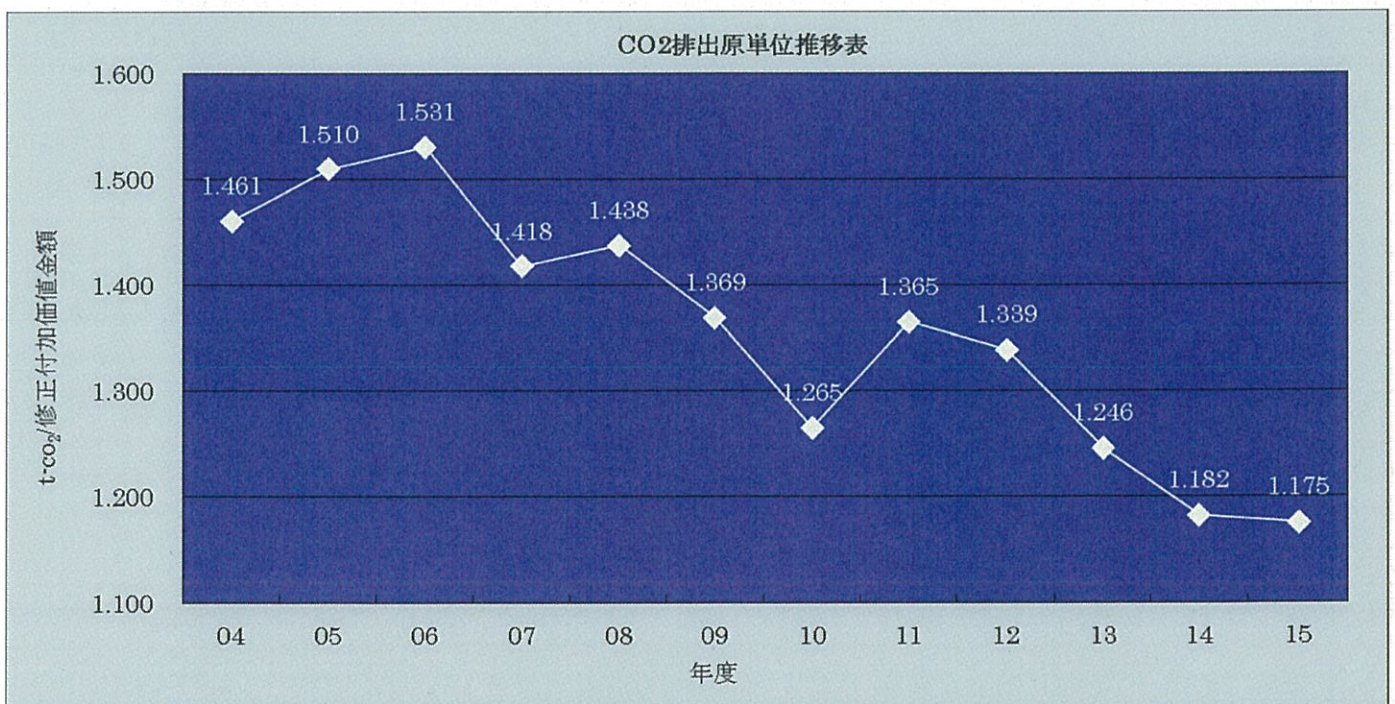
2015年度に行った環境保全の取組は以下の通りです。測定の結果については別途、監視・測定の実績をご覧ください。

分類	項目	目的・効果
大気汚染防止	吸収式冷温水機の煤煙測定 (2回/年)	定期測定による監視
	吸収式冷温水機の定期点検 (2回/年)	メーカー定期点検による維持管理
水質汚濁防止	環境訓練 (油流出想定)	油類流出防止
	水質測定 (毎月)	定期確認による維持管理
	地下タンク二重殻化	油類流出防止
	上限警報装置新規設置	油類流出防止
土壌汚染防止	水質定期測定 (地下水) 1回/年	定期確認による維持管理
騒音・振動	騒音・振動測定	定期確認による維持管理
省エネ	コンプレッサー更新	CO ₂ 削減
	設備の待機電力の削減	CO ₂ 削減
	LED照明導入	CO ₂ 削減
廃棄物管理	廃油量削減取組実施	廃棄物の削減
	廃棄物委託先現地確認	廃棄物の適正管理
景観向上 緑化・美化	正門前花壇の花植替え	景観向上
	工場内花壇の花植替え	景観向上

●監視・測定の実績

大気、水質、騒音、振動の測定結果や、CO₂排出原単位、等を監視しています。実績は以下の図表のとおりです。

放流水水質（月に1回外部測定機関に測定依頼）							
	PH	BOD _(mg/l)	COD _(mg/l)	SS _(mg/l)	n-hex _(mg/l)	T-N _(mg/l)	T-P _(mg/l)
規制値	6.0～8.5	70	70	90	5	40	2
自主基準値	6.3～8.0	20	20	25	4	20	2
実績	6.9～7.7	0.9～4.7	1.9～5.0	1.0～9.8	<0.5	0.6～1.6	0.2～1.1
ばい煙（年に2回外部測定機関に測定依頼）							
	ばいじん (Nm ³ /h)		NO _x (ppm)		SO _x (K値)		
規制値	0.10		150		8.76		
自主基準値	0.05		120		5.00		
空調機①実績	<0.001		15.1～16.1		<0.01		
空調機②実績	<0.001		14.2～31.6		<0.01		
空調機③実績	<0.001		13.8～14.3		<0.01		
空調機④実績	<0.001		15.5～17.3		<0.01		
ガス発電機	<0.001～0.006		121.9～184		<0.01		
騒音（年に2回数地境界線にて測定）（dB）							
	6:00～8:00	8:00～18:00	18:00～22:00	22:00～6:00			
騒音規制値	65	70	70	60			
騒音自主基準値	60	65	65	55			
騒音実績	49.2～58.8	49.0～60.1	49.8～58.4	49.3～54.7			
振動（年に2回数地境界線にて測定）（dB）							
	8:00～19:00			19:00～8:00			
振動規制値	65			65			
振動自主基準値	60			55			
振動実績	<45			<45			



●2016 年度に予定している取組

2016 年度に予定している取組は以下の表のとおりです。これらの取組は進捗状況の確認を逐次行い、全ての目標について達成を目指します。

環境目的	環境目標	目標値
1.環境汚染の防止	構外への油流出0件継続	5号仕上・逆洗地下タンク更新工事
2.省資源化省エネ化	1号コンプレッサ更新(2台)	1号コンプレッサ更新(2台)
3.EMSのスパイラルアップ	内部監査の実施	ISO14001内部監査の実施
	外部監査の実施	ISO定期審査の実施
4.製品化学物質の管理	取引先監査	取引先環境負荷物質管理体制監査
5.環境法令遵守	廃棄物業者の現地確認	委託先廃棄物管理体制監査5社
	フロン点検	自主点検(1回/3ヶ月)
		チラー定期点検(1回/年)

●CSR レポート

NSK グループ全体についての取り組みについて記載されている、NSKCSR レポートも本社にて発行しております。2016 年度版 CSR レポートにつきましても現在作成中です。CSR レポートは NSK のホームページ

(<http://www.jp.nsk.com/>)

にて公表中です。

お問い合わせ先

〒520-0833

滋賀県大津市晴嵐一丁目 16 番 1 号

日本精工株式会社 大津工場

TEL:077-537-1600 (代)

